



今回の“SDGsセタ”の企画を主催しているのは「ジェンダー・プロジェクト」の生徒たち。  
 「ジェンダー」と「セタ」「竹」にどのような関係が!?  
 それは、彼女たちが昨年度発表したプレゼンテーションにヒミツがあります。  
 新1年生もいることですので、まずはジェンダー・プロジェクトの活動をふりかえりつつ、彼女たちの活動の最新情報をお届けします!



## 「竹」×SDGsでジェンダー課題の解決をめざす!

「竹」×SDGsでジェンダー課題の解決をめざす! ~ウガンダを例に~。これはジェンダー・プロジェクトの生徒たちが、昨年度 UN Women [国連女性機関] と株式会社資生堂が主催するイベント「ジェンダー平等に向けたプロジェクト」に参加し「SDGs [持続可能な開発目標] の中から1つ以上を取り上げ、ジェンダーの視点を踏まえて世界あるいは日本における問題提起とそれに対する総合的な解決策を提案する」というテーマに沿って制作したプレゼンテーションのタイトルです。

その内容は「竹由来の持続可能な生理用品」の開発・普及によってウガンダをはじめ世界の途上国の女の子たちが月経に関連する問題で学校に行けない状況を改善し、女子の就学率を向上させるというアイデア。それを「ソーシャル・ビジネスのしくみを活用したプランを提示し、高校生が企業や社会を動かす!」、という内容です。「寄付」や「援助」のような従来型の途上国支援の枠組みではなくて、ジェンダー問題・貧困問題・環境問題などをいずれも経済成長と両立して解決をめざす視点で、まさに「SDGsの発想をフルに活用」したプラン。「セタ」に欠かせない「竹」を女の子の未来を変える素材にするアイデアです!

このアイデアが高く評価されて「全国代表校」に選出され、昨年10月に国連大学の国際会議場で関係者や一般参加者を前にプレゼンテーションしました!



## その後の活動のひろがり

国連大学でのプレゼンテーションを知った JICA ウガンダ事務所の仲介で、ウガンダで「サトウキビ繊維由来の生理用品の開発・販売」や「初経教育」などの活動しているスタートアップ「EcoSmart」の担当者との交流が実現することになりました。生徒たちはプレゼンテーションの原稿とスライドをすべて英語訳して英語版プレゼンテーションビデオを制作し、起業家の女性と Skype ミーティングを実施しました。

そのほか、FM おかざきのラジオ番組に出演したり岡崎市立葵中学校で SDGs の出張講座を実施したりとどんどん活動が展開していき、**未来教育推進機構主催「SDGs 探究 AWARDS 2019」では全国の中高生から応募のあった全 945 点の中からジェンダー・プロジェクトの活動が見事に最優秀賞に輝きました!**  
 こうした活動は、今年3月8日(国連「国際女性デー」)の朝日新聞の特集記事にも掲載されました。

## 「竹由来の生理用ナプキン」の開発に向けて

ジェンダー・プロジェクトの生徒のうちこの春に卒業した 11 人は新たな団体を立ち上げて「竹由来の生理用ナプキン」の開発に向けて活動を開始。新型コロナウイルス感染拡大の混乱にも負けず Line や Zoom などを駆使して定期的にプロジェクト会議を開きながら、関連する企業や関係者へのアプローチを展開。先月には福岡大学の佐藤研一教授を代表とし竹の持続可能な利活用にチャレンジする企業や関係者でつくる「竹イノベーション研究会」の基調講演にリモート出演し「オンラインプレゼン&ミーティング」を実施。さまざまな業種・関係者と「竹」をキーワードにつながりをひろげています。

## 「169 ターゲットアイコンの日本語訳」を先行実施

先輩たちを送り出した在校生たちは、休校期間中を利用して SDGs の 17 のゴールの下にある 169 のターゲットのアイコンの日本語訳にチャレンジを開始。まだ英語版しか存在しない 169 のアイコンに着目し、その啓発のため Goal 5「ジェンダー平等を実現しよう」のターゲットからはじめ、新型コロナウイルスや子どもたちに関連の深い Goal 1・3・4 へのチャレンジを展開中。そうしたさなか、朝日新聞のプロジェクトが始まったため、この活動を起点に全校からアイデアを募集するプロジェクトへと切り替えました!

このように、「竹」からはじまって活動の幅をひろげるジェンダー・プロジェクト。そのメンバーたちが「竹」つながりで始めたのが、今回の“SDGsセタ”なのです。

ジェンダー・プロジェクト主催「竹×SDGs」企画

“SDGsセタ飾り”募集中!



(掲示した用紙は F S C® 認証紙を使用しています)

